

「市川昂」の名を、学校の良さを、伝えたい 来年度の生徒募集に向け学校をPR



第19号
発行
県立市川昂高等学校
市川市東国分1-1-1

6月19日(火)
第1回開かれた学校づくり委員会開催

当日は学校長挨拶の後、本年度の取組についての説明、授業参観、意見交換を行いました。授業参観後の意見交換では、

授業を楽しそうに受けているのが印象的だった。

昂高校は上り坂だなと感じた。昂ブランドが学力だけではなく、人間性も含め伸びていくことを期待する。

学校に在る間に小さな挫折をたくさん経験し、たくましく育っていった欲しい。

気遣いのできる人間に育て欲しいと思っているが、まず親が見本となって子供に見せていかないと伝わらないと思う。

小学校では「コミュニケーション能力や思いやりの気持ちなどを含め、「人と関わる力」と位置づけて挨拶から始めて育てようとしている。社会全体が人と関わらずにすむように変化し、人間関係の希薄化が進んでいる。保護者の方、



高橋教諭(英語科)の授業風景

委員の方々の授業参観

地域、学校が一緒になって、子供達にどう人と関わるべきかをためらわずに教えていくべきだ。などたくさんのご意見をいただきました。

次回は8月3日(金)地域1000か所ミニ集会を兼ねて開催いたします。

6月26日(火)
市川市立下貝塚中学校保護者42名来校
7月3日(火)
市川市立第六中学校保護者54名来校

学校長挨拶、学校説明、校内見学と授業参観を実施しました。いつ見てもいいような「開かれた授業」を目指しています。本校と職員・生徒にも刺激になります。

6月30日(土)
市川市立第三中学校で柴田校長が講師として講演

当日は授業公開日で、同校の体育館で3年生と保護者の前で本校の紹介と「地域と歩む昂高校」に熱弁を奮いしました。



みなさん、本校ホームページ上の校長便りのコラムを是非とも見てください

保護者の方へ

6月上旬の保護者面談の際は、お忙しいところ本校においでいただきありがとうございます。面談後の各担任や各学年主任から、保護者の方々のご意見やご要望を集約し、全職員に決して改善していきたくと考えております。

- ・頭髪や化粧などを含めた服装指導について(制服の着崩しが多く残念 厳しい指導を)
- ・学習面について(自宅でゲーム、携帯ばかりで勉強しない)
- ・部活の状況や勉強との両立について(疲れて家庭学習はほとんどしない。加入増加を)
- ・進路関係の質問や要望も多数(補習や対策講座、指定校の基準、進学資金など)

これらは一部ですが、参考にさせていただきます。また、学校からのお知らせや連絡が配布文書でも届かない

生徒寮「きょう」では、自主立の精神・お互いを思いやる心を育てています。



紹介! 昂高校

三重県立昂学園高等学校
日本で唯一の公立全寮制の「総合学科」高校です。三重県全域から生徒が集まり、5つの系列(国際交流・美術工芸・環境技術・生活福祉・総合スポーツ)で学んでいます。

生徒諸君へ

本年度、君たちはとても「新生・市川昂」としてよくやっているし、お褒めの言葉をいただくことが多いです。が、しかし、それは以前との比較であって、今の君たちやこれからの君たちとの比較ではありません。今あるいはこれから、君たちや私たち職員が目指すものは、もっと先にある「市川昂高校」であり、5年、10年後に逞しく社会で生きる君たちの姿であります。その時にも「市川昂高校」に誇りを感じることのできる学校です。生徒・職員が一つになって前に進む学校づくりをしていきましょう。常日頃から先生方が言うこと、指導することを信じてついてきてください。(M.S)